



伊達高校放送局「第39回全道高等学校放送発表大会兼第62回NHK杯全国放送コンテスト」に5年連続出場

7月20日～23日、東京都で開催された全国大会に伊達高校放送局が5年連続で出場しました。

今年は、ラジオドキュメント部門とテレビドキュメント部門にエントリー。ラジオドキュメントは「命の大切さ」をテーマにした作品で優良賞を受賞。テレビドキュメントは「障がいのある方が身近に暮らしていることを知ってほしい」と伊達肢体不自由児者父母の会の活動を映像にまとめた作品で制作奨励賞を受賞しました。局長の田村未来さんは「関係者への感謝の心を忘れず、来年は決勝に進めるようより良い作品を作りたい」と意気込みを話してくれました。



伊達高校放送局の皆さん

武者まつりでは、出演者に突撃インタビューも



カヌーを初体験

8月5日、有珠湾で「チャレンジ！カヌー講習会 & 水の事故防止方法を学びながらカヌーを楽しんでほしいと毎年行っているものです。

講師の藤谷さんから、「溺れている人がいたら大人に助けを求める。海の生物にむやみに触らない」など注意点の説明を受けた後、早速カヌーに。最初はおぼつかない様子を見せていたパドルの扱いも徐々に慣れて、楽しそうに水上を滑走していました。



子どもならでは？パドル操作もあっという間になれます

花の色合いや形のバランスが大事



華やかさを演出

8月3日、市観光物産館でフラワーアレンジメント教室が行われました。これは、毎月1回程度、伊達観光物産公社が行っているイベントの1つです。

今回は高野ヒサ子さんを講師に迎えて、白や黄緑、紫などのトルコキキョウをメインに、色合いや形を考えながら花を生けていきました。

同じ花を使ってもそれぞれの個性が出た作品を見比べたり、褒めあったり。楽しそうな様子の参加者の皆さんでした。

児童クラブ栄養教室

8月11日、市保健センターでやまびこ児童クラブに通う2年生の児童を対象に栄養教室が開催され、11名が参加しました。

市の栄養士から朝ごはんの大切さや食に関する基本的な知識をクイズ形式で学んだ後、おにぎり作りがスタート。栄養士や児童クラブの先生に教えてもらいながら、丸や三角のおにぎりを握りました。

完成後は実際に試食し、「おいしい！」と自分で握ったおにぎりの味に大満足だったようです。



自分で握ったおにぎりの味は格別です

「動く洛中洛外図屏風」の説明を受ける参加者



(仮称)伊達市総合文化館ってどんな施設？

8月8日～12日、カルチャーセンターで(仮称)伊達市総合文化館スタートアップ展示が開催されました。これは、平成30年度に開館予定の同施設で行う予定の展示やイベントなどを紹介するもので、この日は「兜のプロジェクションマッピング」や「動く洛中洛外図屏風」などを展示。

市の担当者は「新しい施設では今まで展示できなかった作品の展示も可能になる。楽しみに待っていてほしい」と話していました。



男だったらスーパーマン！

8月7日、市保健センターで中央地区社会福祉協議会主催の男性料理教室「男だったらスーパーマン」の2回目が開催され、10名が参加しました。1回目で決めた献立の材料を1班5名のうちの2名が自分たちで買い出しすることがこの教室の特徴です。スーパーでは、食材の場所を探したり、材料の量や質、金額などを慣れない様子で検分して購入。その後、多少手伝ってもらいながらも、それぞれが決めたカレーライスやサンマ蒲焼き丼をメインにデザートなどを含め4品を完成させました。「孫に作ってあげる」とうれしそうな様子が見られました。

※スーパーマンとは食品店の「スーパー」にかけた名前です



おいしい料理になるよう、真剣です



食材選びも自分たちで